

Monthly Times (H29. 4月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

新年度スタート特集号！

おめでとう！入学式を挙行 138名が入学



入学式風景

桜咲く4月11日(火)、菜種梅雨の天候の中、平成29年度入学式が行われ、138名(男子68名、女子70名)が入学しました。

新入生は、やや緊張気味に、吹奏楽部の演奏とともに入場してきました。大勢の2・3年生の有志が、新入生に祝意と歓迎の気持ちを込めて、力強く国歌・校歌を斉唱し、会場内は、厳粛さと和やかさで溢れていました。

式辞の中で庄田卓爾校長は、「まず、基本的な生活習慣を身につけることは、学校生活を有意義に過ごすためだけでなく、将来にわたって皆さんを支える力となります。」「次に、将来の夢や目標を持つこと。夢はみるものではなく、叶えるものです。」「そのために本校教職員は情熱をもって全力でサポートしていきます。」「と熱く語られました。これに呼応して、1組橋本拓樹(はしもと ひろき)君が新入生を代表して立派に宣誓を行いました。

生徒一人ひとりが目標や夢の実現に向けて、充実した学校生活を送っていくことを期待しています。

ようこそ有田中央へ！“学校開き”等を開催！

本年度も新入生がスムーズに高校生活を送れるよう、様々な取組を行っています。昨年度まで実施していた対面式は、今年度、12日(水)に“学年開き”として実施し、上級生の田中比奈(たなか ひな)さん、松田信長(まつだ のぶなが)君が自分の高校生活を振り返り、全校生徒の前でそれぞれの想いを披露してくれました。上級生も下級生も、みんな何かを感じ取ってくれたと思います。13日(木)には、恒例の“クラブ紹介”を実施。それぞれのユニフォームに着替えて、クラブ員勧誘に工夫を凝らしました。

また、14日(金)は、1年生のスムーズなクラス開きに向け、生徒間の緊張をほぐし、コミュニケーションを取りやすい雰囲気を作るため、グループに分かれて“アイスブレイク(自己他者理解)”をしたり、自分自身のプレゼンテーションやCM作りを行ったりしました。先生の想い、一人ひとりの生徒の想いを集約して、各クラスごとの目標につなげていきました。

さらに、17日(月)には、学年を越えた仲間作りを想定した学年縦割りでの“ブロック開き”を行いました。上級生は、ブロックのリーダーとしての自覚と責任を持つことで、下級生は、クラブや中学校の先輩だけでなく、有田中央高校の先輩との関わりを持つ機会を持つことで、学校生活を前向きに、安心感を持って過ごし、共生の意識が芽生えることを目的としています。



学年開き



クラブ紹介

1年は宿泊研修、2・3年は遠足へ



宿泊研修Ⅰ

宿泊研修Ⅱ

1年生は、20日(木)・21日(金)の2日間、生憎の雨を伴う曇り空のもと、「県立白崎青少年の家」で宿泊研修を行いました。9年目を迎えるこの研修で、集団行動や校歌指導、各分掌の先生方から総合学科についての説明やレクリエーションなどを行いながら、寝食を共にすることでお互いの理解を深め、クラスの団結を高めるとともに本校で学ぶ意義や目的、有田中央高校生として身に着けるべき重要なことを学習しました。また、40名の上級生(2・3年生)が1年生との懇談会に参加し、学習やクラブ活動について自らの体験に基づく話をしてくれました。この宿泊研修は、卒業時に生徒が良き思い出として振り返る行事となっており、1年次の出足としてとても大切な取組となっています。

2日目の21日(金)には、生徒それぞれが役割分担を果たして、野外炊飯でカレーライスをいただき、無事学校に戻ってきました。

同じく、21日(金)に、2年生は、大阪此花区のUSJ、3年生は、神戸市内散策とそれぞれバスを利用して遠足に出かけました。大阪、神戸とも、曇天ながら天候に恵まれ、楽しい1日を過ごすことができました。

宿泊研修と遠足、いずれの取組も、本校生徒にとっての最初の学年行事として実りのあるものとなったようです。